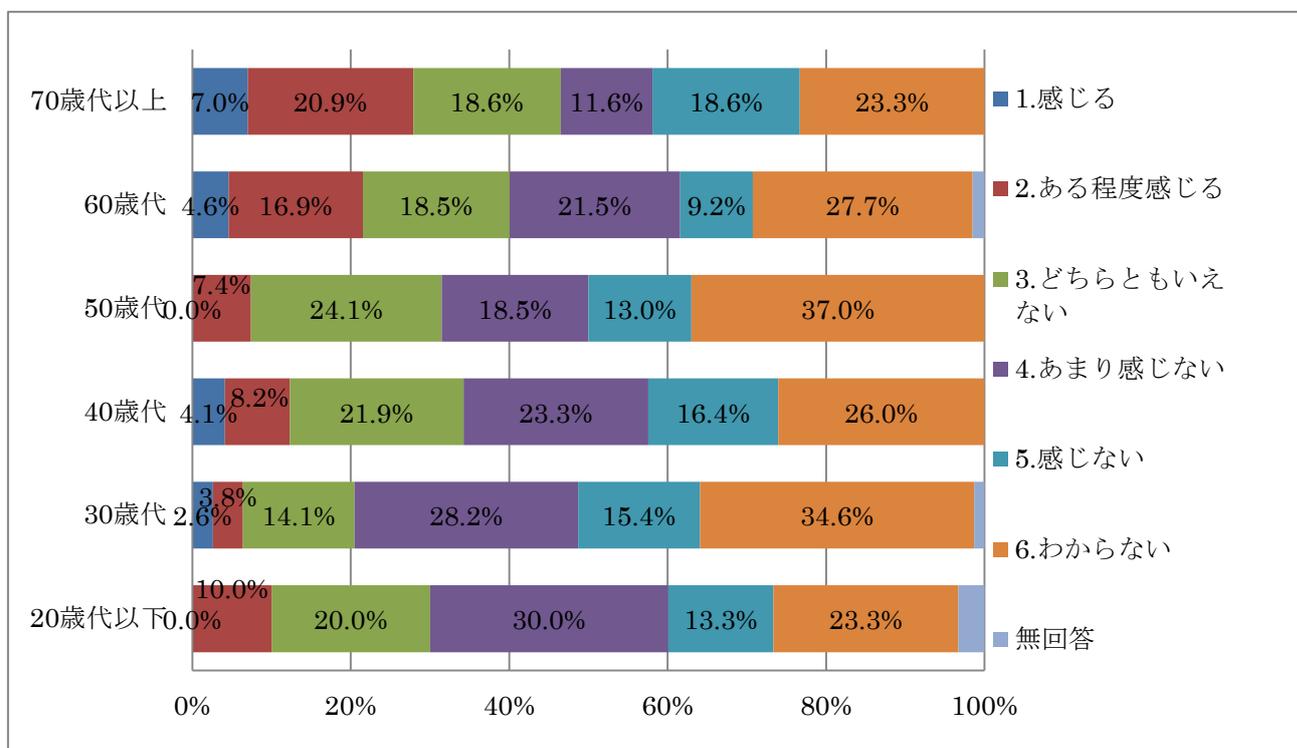
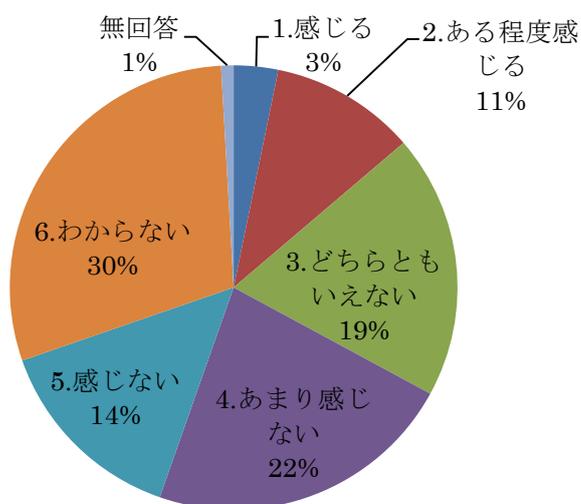


### Ⅲ 活力ある地域社会づくり・自律した自治体型の区政運営等

問 17 新たに設立された各地域での地域活動協議会が様々な団体により構成され、活動内容や会計の状況を知る機会が増えるなど、地域が一体となって運営されていると感じますか。(1つ選んでください)

1. 感じる【11】    2. ある程度感じる【36】    3. どちらともいえない【66】  
 4. あまり感じない【77】    5. 感じない【49】    6. わからない【101】  
 無回答【3】

n=343



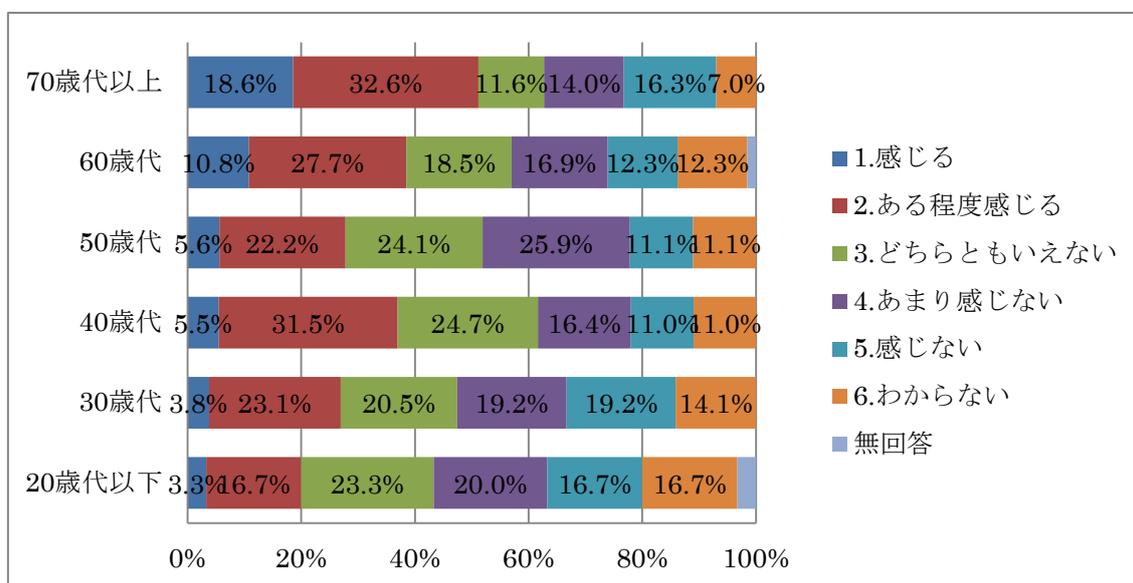
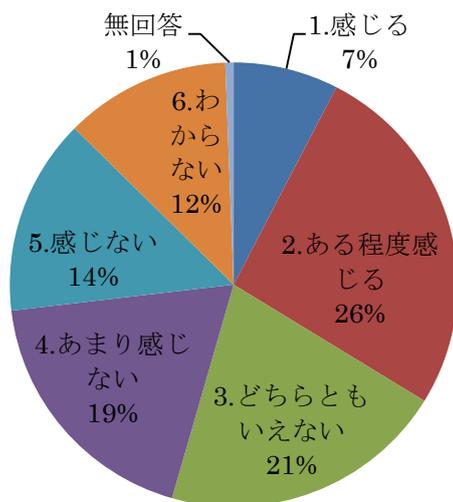
### 【分析・コメント】

- 肯定的意見（「感じる」「ある程度感じる」）の割合は 13.7%となっている一方、「あまり感じない」「感じない」を合わせた割合は 36.7%となっています。また、「わからない」の割合は 29.4%となっています。
- 年代別にみると、「50 歳代」以下における肯定的意見の割合が、「60 歳代」以上に比べて小さくなっています。
- 各地域において設立されている地域活動協議会において、地域が一体となった運営がなされるよう、行政として支援を行っているところですが、その成果について幅広い世代からの認識が得られるほど活動が十分進んでいないことがうかがえます。
- 今後、地域活動に対し幅広い世代の関心を高め、地域が一体となった運営がなされるよう、行政として引き続き支援を行うことが必要です。

問 18 あなたが住んでいる地域で、地域活動協議会において、盆踊りやまつりなどの事業が行われていますが、これらの事業を通じて、地域コミュニティの活性化が図られ、日ごろから地域の人と話す機会が増えたと感じますか。(1つ選んでください)

1. 感じる【26】 2. ある程度感じる【90】 3. どちらともいえない【71】  
 4. あまり感じない【64】 5. 感じない【49】 6. わからない【41】  
 無回答【2】

n=343

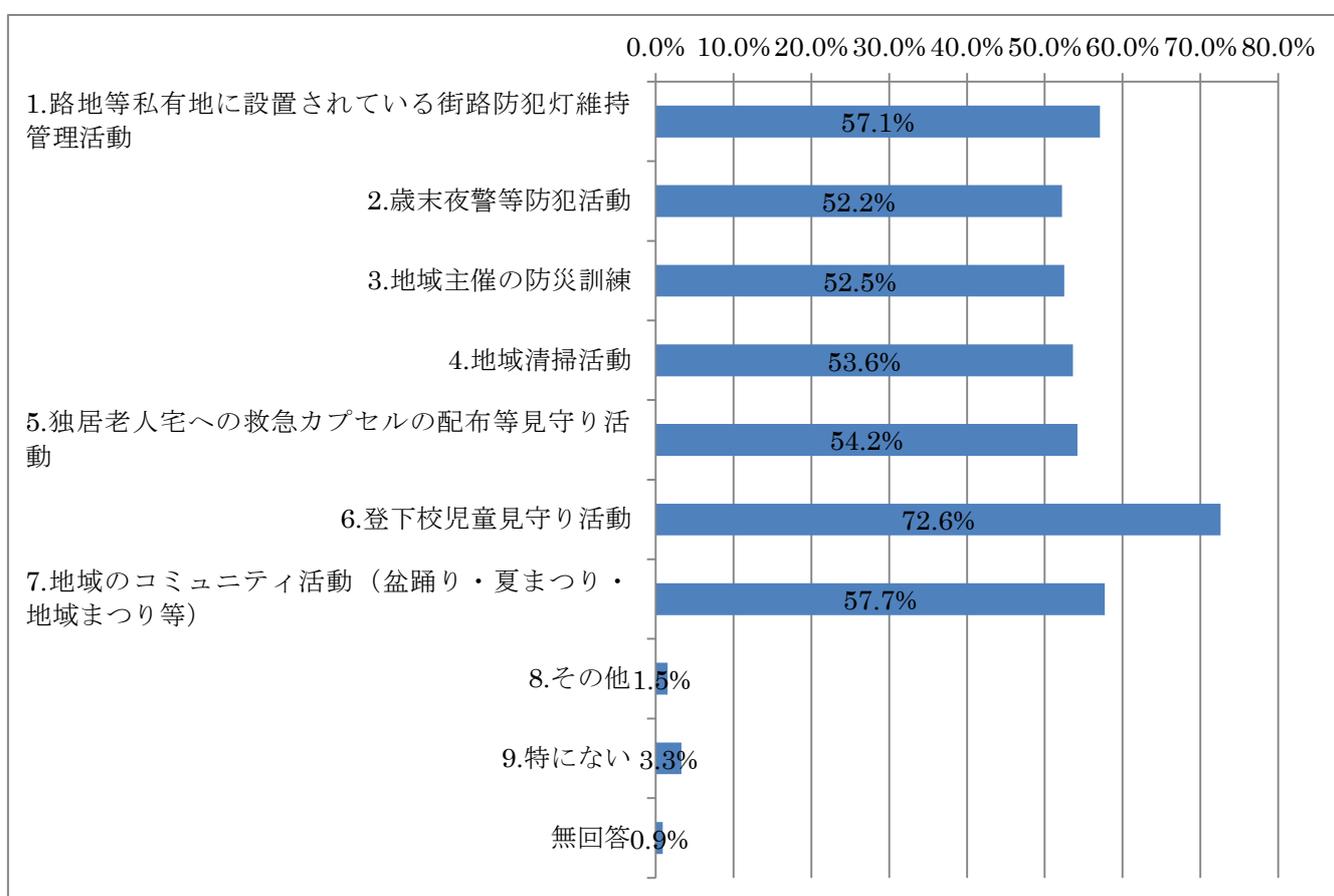


### 【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「感じる」「ある程度感じる」）の割合は33.8%となっており、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた割合は33.0%と拮抗しています。
- ・ 年代別にみると、年代が高くなるほど肯定的意見の割合が大きくなっています。このことは、様々な地域活動を体験する機会が増えたことによるものと推察されます。とくに、「60歳代」以上の年代において、地域の方に参加する機会が増えたことにより新たなコミュニケーションの機会が増えたことが考えられます。
- ・ 今後、これまで地域活動に参加してこなかった層の参加を促し、地域コミュニティの活性化に向けて、効果的なPRを含めた取組について検討し実施するなど、行政として引き続き支援に取り組んでいく必要があります。

問 19 現在、地域活動協議会では、次のような活動などを行っています。これらの活動に関して、あなたが今後とも必要と思われる活動は、次のうちどれですか。(複数回答可)

1. 路地等私有地に設置されている街路防犯灯維持管理活動【196】
  2. 歳末夜警等防犯活動【182】
  3. 地域主催の防災訓練【180】
  4. 地域清掃活動【184】
  5. 独居老人宅への救急カプセルの配布等見守り活動【186】
  6. 登下校児童見守り活動【249】
  7. 地域のコミュニティ活動（盆踊り・夏まつり・地域まつり等）【198】
  8. その他【5】
  9. 特にない【11】
  - 無回答【3】
- n=343



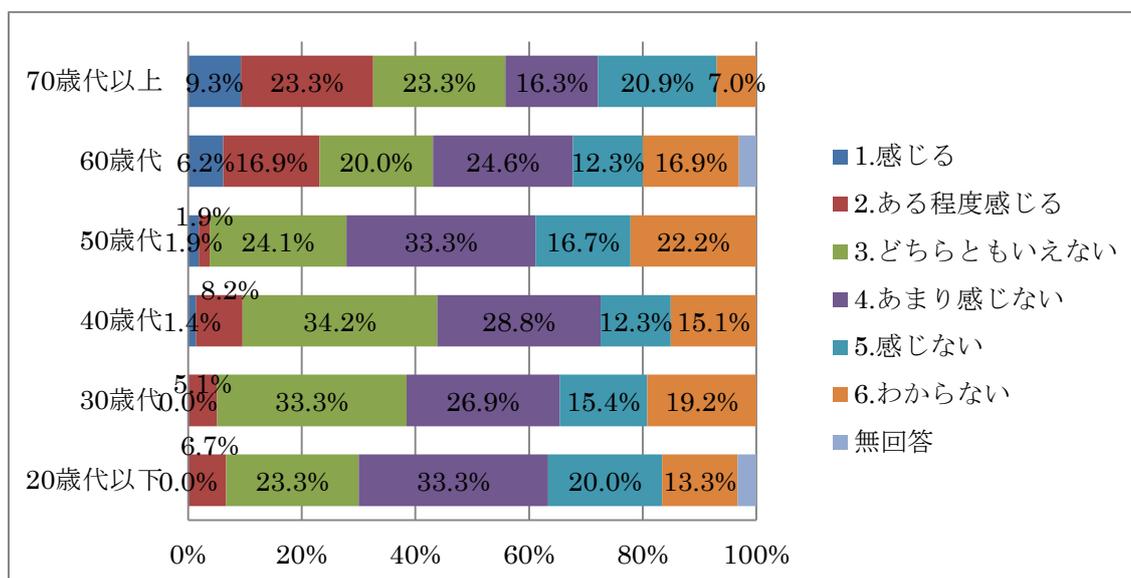
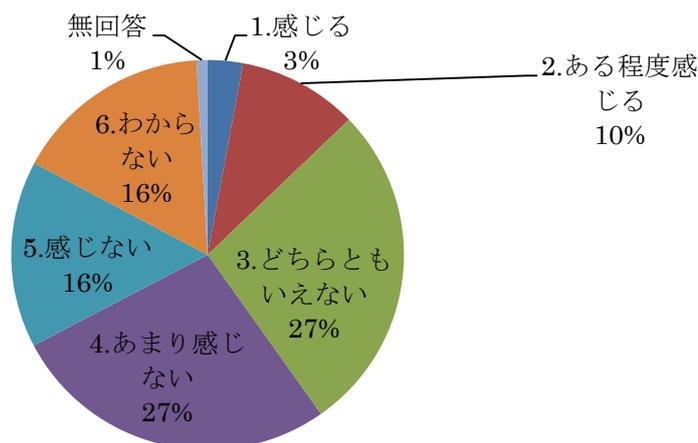
#### 【分析・コメント】

- ・ 今後とも必要と思われる活動として「登下校児童見守り活動」の割合が最も大きく72.6%となっており、他の取組についても、5割台とおおむね横並びとなっています。
- ・ 地域活動協議会が実施している活動は、安全・安心、環境、福祉、コミュニティづくりなどにおいて必要と認識されているといえます。今後も継続して実施されることが望まれます。

問 20 あなたは、地域活動を始めたい時にどうすればよいかなど、地域活動に参加しやすい環境がこれまで以上に整ってきていると感じますか。(1つ選んでください)

1. 感じる【10】    2. ある程度感じる【34】    3. どちらともいえない【94】  
 4. あまり感じない【93】    5. 感じない【53】    6. わからない【56】  
 無回答【3】

n=343

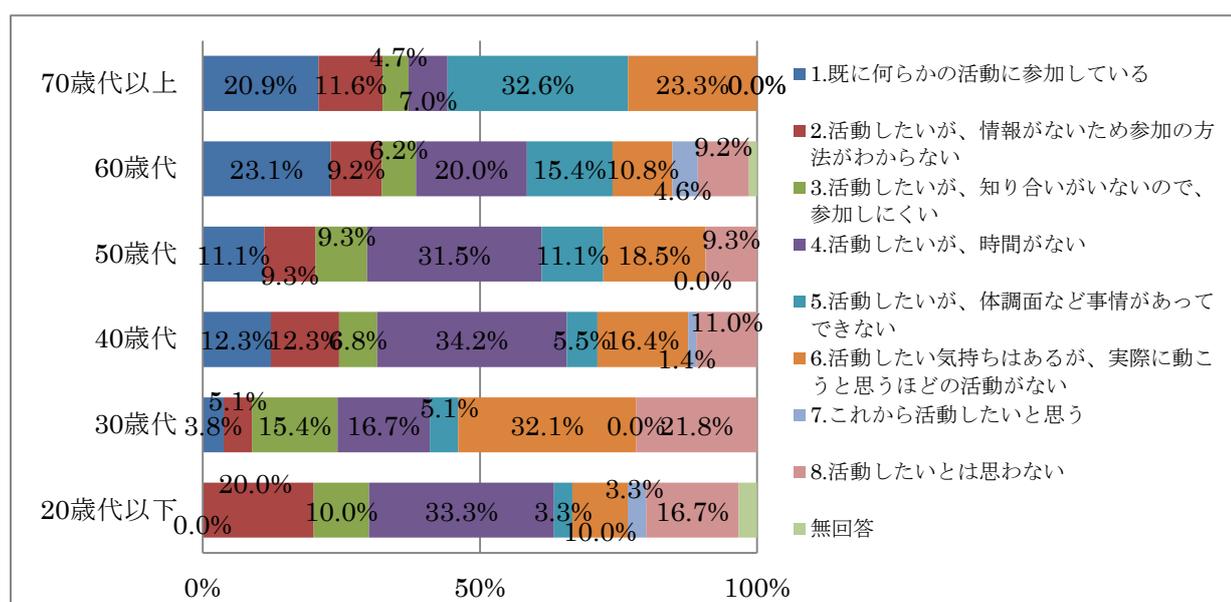
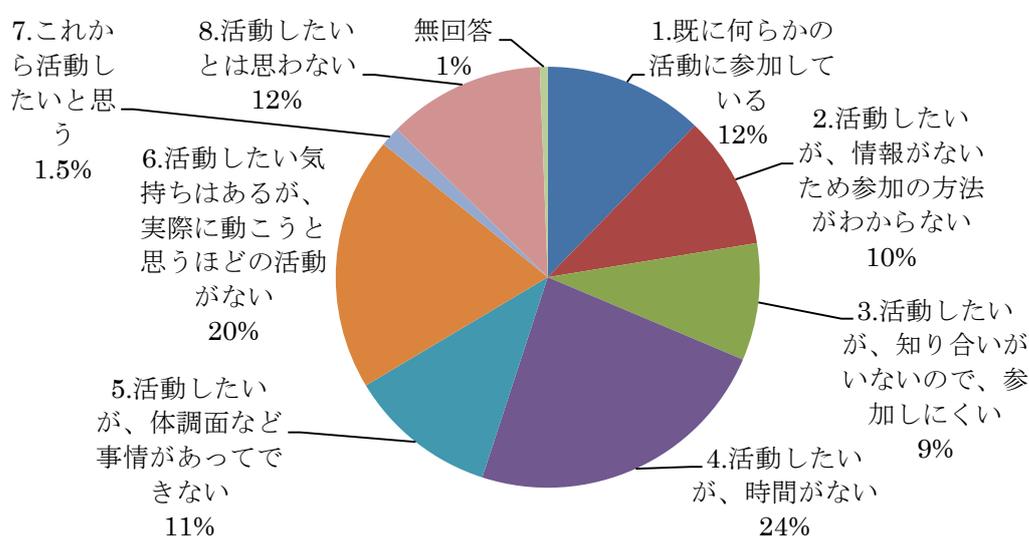


【分析・コメント】

- 肯定的意見（「感じる」「ある程度感じる」）の割合は12.8%となっており、一方、「あまり感じない」「感じない」を合わせた割合は42.6%となっています。
- 年代別にみると、「50歳代」以下における肯定的意見の割合が「60歳代」以上に比べて小さくなっています。その理由として、問21の結果から、「時間がない」ことが一つの要因であると推察されます。

問 21 あなたの此花区内の地域活動への関わり方は、次のうちどれが最も近い  
ですか。(1つ選んでください)

1. 既に何らかの活動に参加している 【42】
  2. 活動したいが、情報がないため参加の方法がわからない 【35】
  3. 活動したいが、知り合いがいないので、参加しにくい 【31】
  4. 活動したいが、時間がない 【81】
  5. 活動したいが、体調面など事情があってできない 【39】
  6. 活動したい気持ちはあるが、実際に動こうと思うほどの活動がない 【67】
  7. これから活動したいと思う 【5】
  8. 活動したいと思わない 【41】
- 無回答 【2】 n=343



### 【分析・コメント】

- 地域活動に「既に活動に参加している」の割合は12.2%、次いで「これから活動したいと思う」は1.5%となっています。
- 活動したいができ（てい）ない方（「活動したいが、情報がないため参加の方法がわからない」「活動したいが、知り合いがいないので、参加しにくい」「活動したいが、時間がない」「活動したいが、体調面など事情があってできない」「活動したいが、実際に動こうと思うほどの活動がない」）は73.7%となっています。
- 活動でき（てい）ない理由については年代ごとに異なっていますが、活動の意思を有する方が各年代において7割以上であることを踏まえ、今後、地域の方々が参加したいと思う活動の実施及び参加を促すための情報提供等において、行政として、引き続き支援に努める必要があります。



### 【分析・コメント】

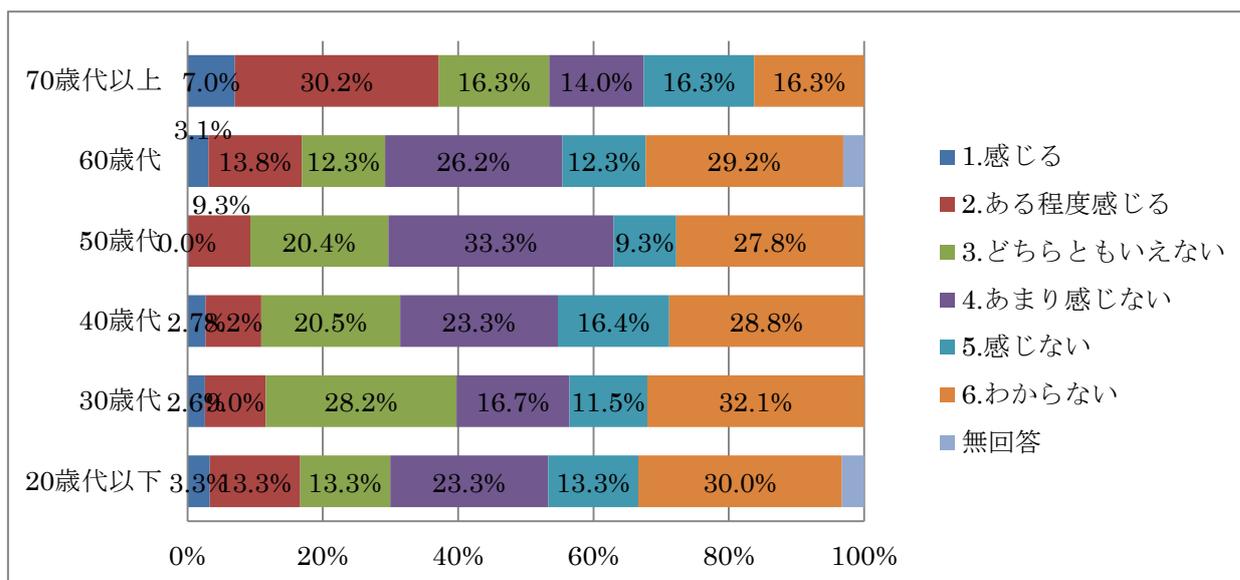
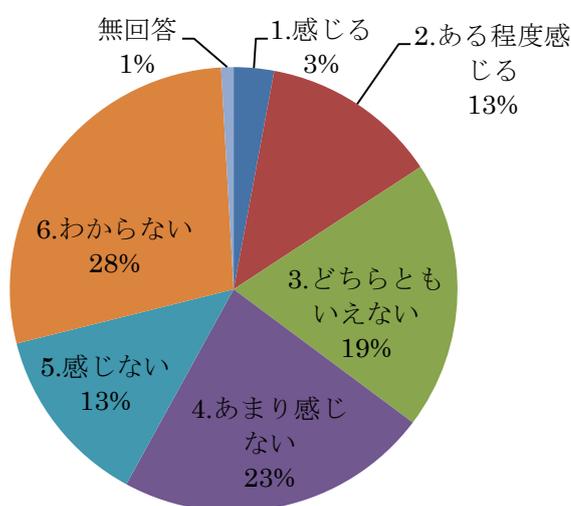
- ・ 肯定的意見（「そうである」「まあまあそうである」）の割合は 23.6%となっており、一方、「あまりそうでない」と「そうでない」を合わせた割合は 18.4%となっています。
- ・ 年齢別にみると、肯定的意見の割合が最も大きいのは、「70 歳代以上」の 44.2%、次いで「40 歳代」の 30.1%となっています。
- ・ 各地域において設立されている地域活動協議会において、地域が一体となった運営がなされるよう、行政として支援を行っているところですが、「わからない」の割合が 3 割以上を占めていることから、情報発信力の不足が課題であるといえます。
- ・ 今後、地域のまちづくりに関する活動の効果的かつ積極的なPRがなされるよう、引き続き行政としての支援が必要です。

問 23 あなたは、お住まいの地域において、地域の実情を踏まえてまちづくりに取り組むことができる人が活躍していると感じますか。

(参考) 大阪市では、地域のまちづくりを活性化するため、中立的な立場で地域の話し合いを進め、人材・情報など地域の資源をコーディネートし、地域特性の応じた活動のマネジメントを行う「地域公共人材」の育成に取り組むこととしています。(1つ選んでください)

1. 感じる【10】 2. ある程度感じる【44】 3. どちらともいえない【67】  
 4. あまり感じない【78】 5. 感じない【45】 6. わからない【96】  
 無回答【3】

n=343

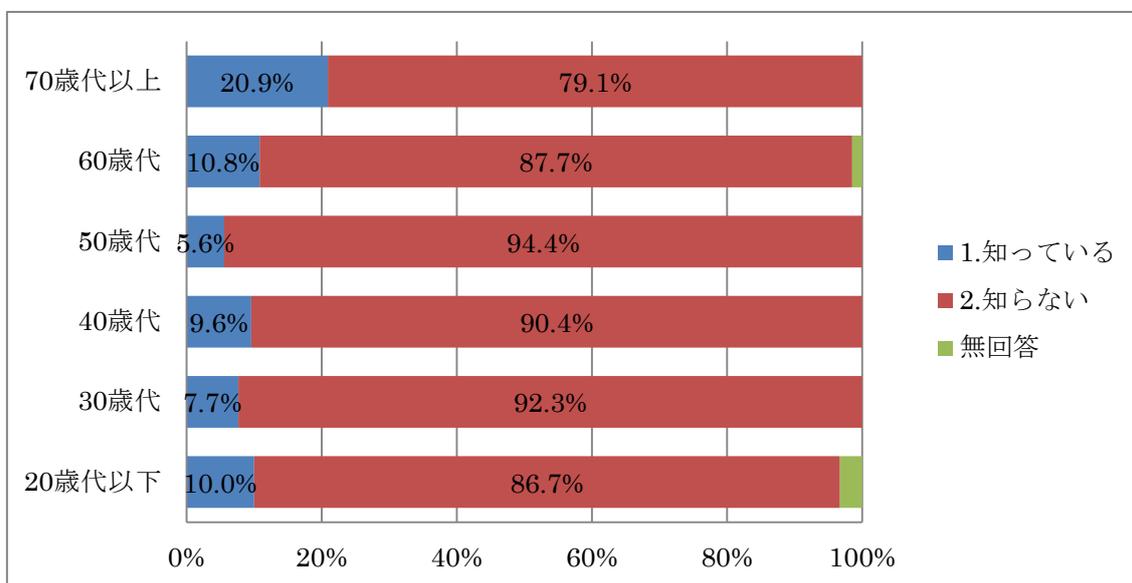
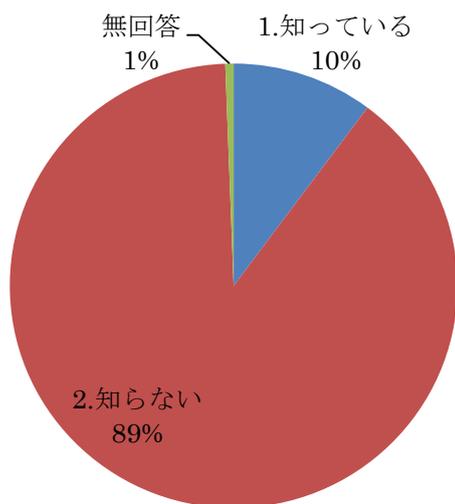


### 【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「感じる」「ある程度感じる」）の割合は15.7%となっており、一方、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた割合は35.8%となっています。
- ・ 地域における「地域公共人材」の育成及び、認知度の向上を図るための取組がまだ十分進んでいないことがうかがえます。
- ・ 今後、地域のまちづくりのさらなる活性化をめざし、行政として、引き続き中間支援組織と連携する等、地域資源をコーディネートし地域特性に合った活動をマネジメントできる人材の育成の支援に努める必要があります。

問 24 あなたは、地域における雇用の創出やヒト・モノ・カネ・情報などの資源の循環による地域経済の活性化のために大阪市が進めている、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの意義やメリットをご存知ですか。(1つ選んでください)

1. 知っている 【35】    2. 知らない 【306】    無回答 【2】                      n=343



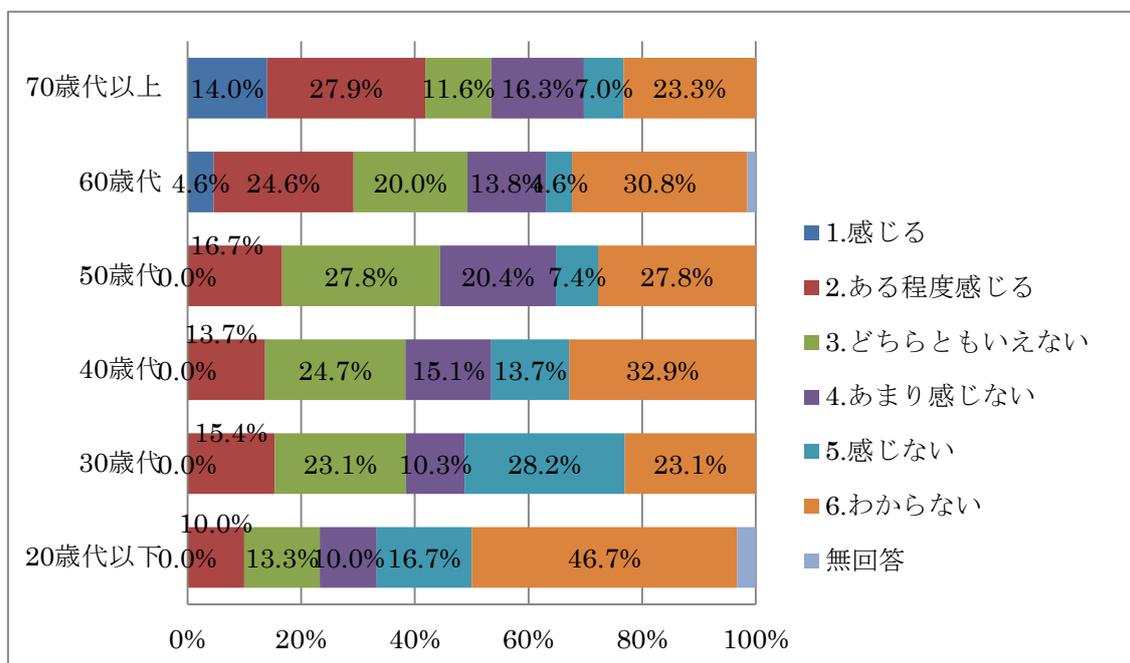
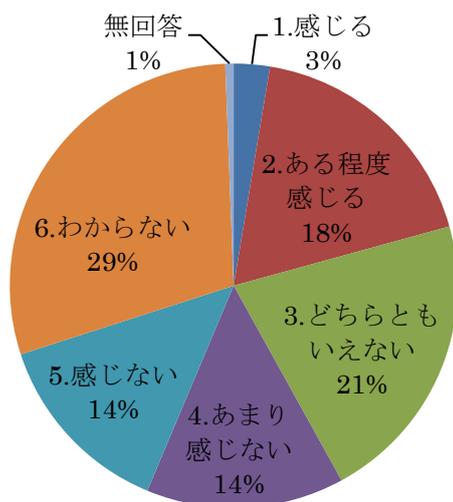
### 【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「知っている」）の割合は10.2%となっており、「知らない」の89.2%を大きく下回っています。
- ・ いずれの年齢層においても同様の傾向にあることから、今後、行政として、改めてコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの意義やメリットについて認知度を高めるための効果的なPRを含めた取組について検討し、推進する必要があります。

問 25 あなたは、区役所の効率的な業務運営に向け、此花区の実情や特性に応じて取組が進められていると感じますか。(1つ選んでください)

1. 感じる【9】 2. どちらかといえば感じる【62】 3. どちらでもない【73】  
 4. どちらかといえば感じない【49】 5. 感じない【47】 6. わからない【101】  
 無回答【2】

n=343



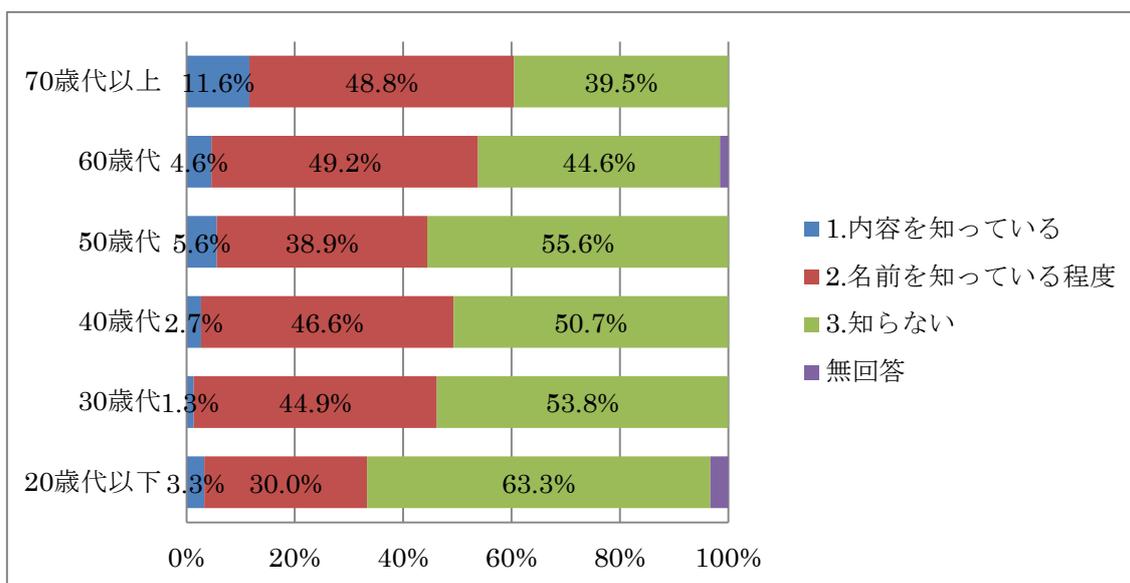
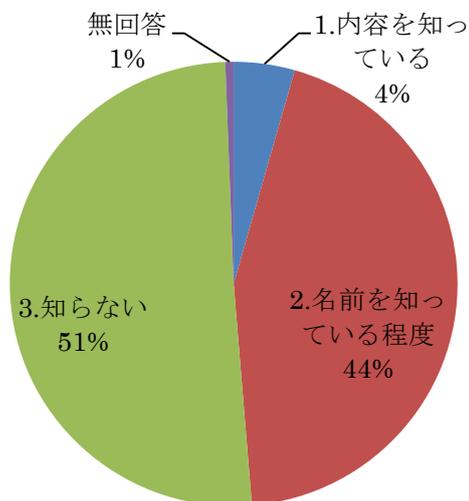
### 【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「感じる」「ある程度感じる」）の割合は20.7%となっており、一方、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた割合は28.0%となっています。
- ・ 年齢別にみると、おおむね年代が上がるほど肯定的意見の割合が大きくなっています。
- ・ 今後、区民サービスの向上と効率的な業務運営に向けて取り組むため、区民の声を聴き、PDCAサイクルをきちんと回していくとともに、そのための区政運営に関する情報発信を積極的に行っていく必要があります。

問 26 あなたは、「市政改革プラン」をご存知でしたか。(1つ選んでください)

1. 内容を知っている【15】 2. 名前を知っている程度【152】  
 3. 知らない【174】 無回答【2】

n=343



【分析・コメント】

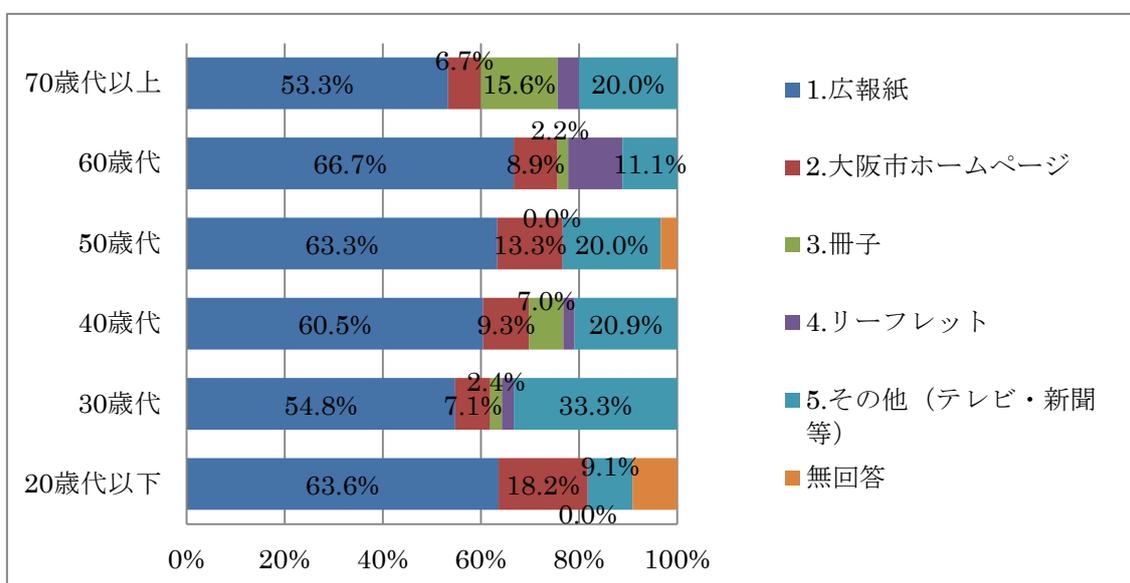
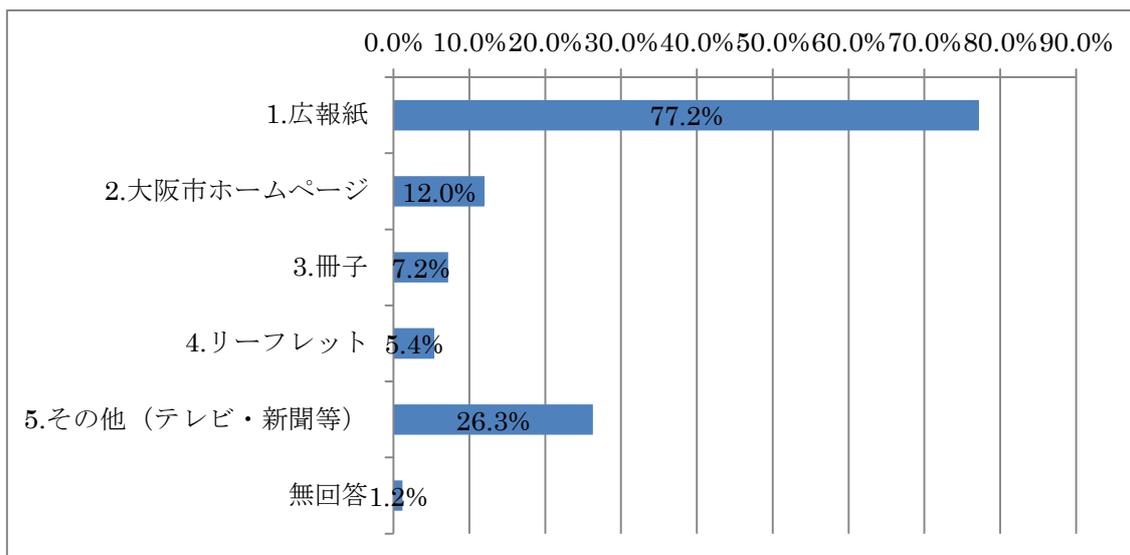
- ・ 肯定的意見（「内容を知っている」）の割合は4.4%となっており、「知らない」の50.7%を大きく下回っています。なお、「名前を知っている程度」の割合が最も大きく、44.3%となっています。
- ・ 年齢別にみると、おおむね年代が上がるほど肯定的意見の割合が大きくなっています。
- ・ 今後引き続き、運営方針の策定や中間振り返り等機会があるごとに「市政改革プラン」の周知を図る必要があります。

【問 27 は、問 26 で「1. 内容を知っている」「2. 名前を知っている程度」と回答された方にお聞きします。】

問 27 あなたは、「市政改革プラン」について、何でお知りになりましたか。(複数回答可)

1. 広報紙【129】      2. 大阪市ホームページ【20】      3. 冊子【12】  
 4. リーフレット【9】      5. その他（テレビ・新聞等）【44】      無回答【2】

n=167



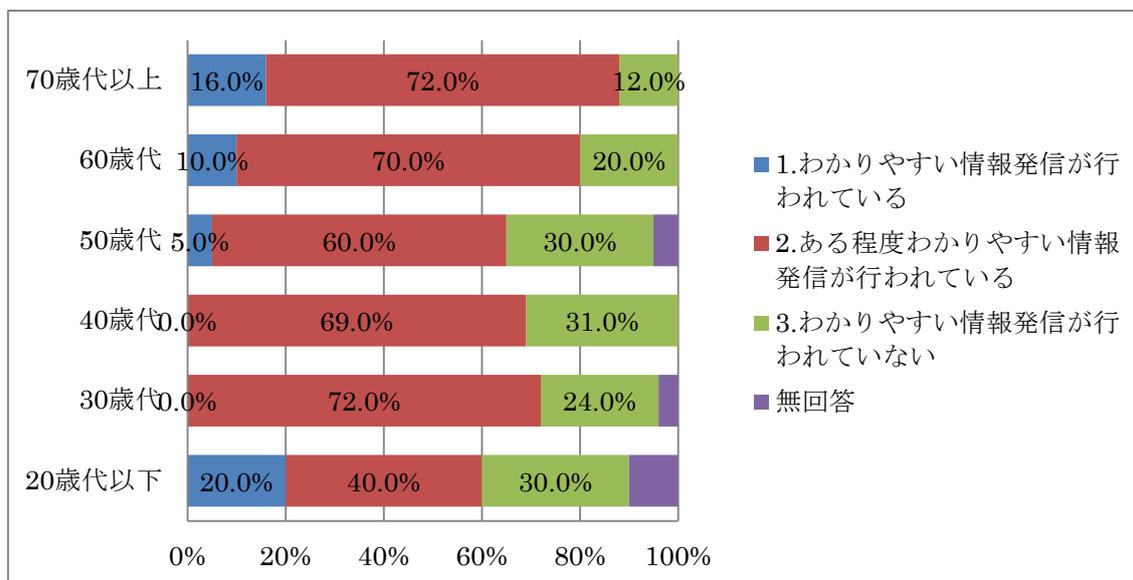
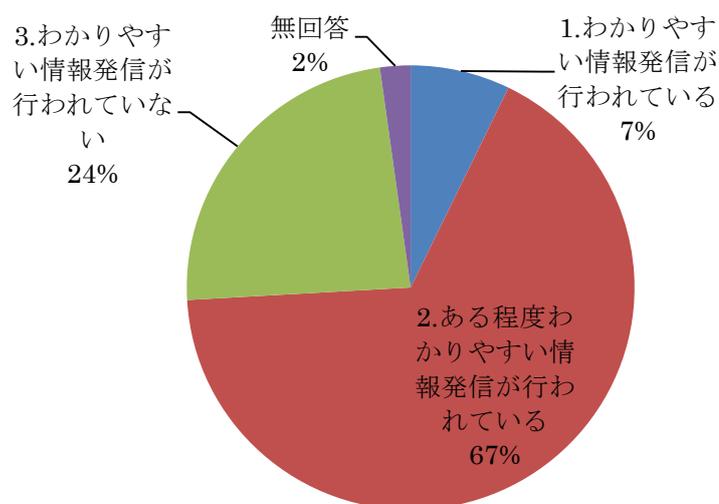
### 【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見のうち「広報紙」の割合が最も大きく77.2%となり、次いで「その他（テレビ・新聞等）」の26.3%となっています。
- ・ 今後引き続き、広報紙やホームページへの掲載等周知に努める必要があります。

【問 28 は、問 27 で「1. 広報紙」「2. 大阪市ホームページ」「3. 冊子」「4. リーフレット」をいずれか1つでも回答された方にお聞きします。】

問 28 あなたは、「市政改革プラン」について、わかりやすい情報発信が行われていると思いますか。（1つ選んでください）

- 1. わかりやすい情報発信が行われている 【10】
- 2. ある程度わかりやすい情報発信が行われている 【93】
- 3. わかりやすい情報発信が行われていない 【33】 無回答 【3】 n=139



### 【分析・コメント】

- 肯定的意見（「わかりやすい情報発信が行われている」「ある程度わかりやすい情報発信が行われている」）の割合は74.1%となっており、一方、「わかりやすい情報発信が行われていない」の割合は23.7%となっています。
- 年齢別にみると、おおむね年代が上がるほど肯定的意見の割合が大きくなっています。
- 今後、効果的なPRの方法を検討し、より分かりやすい情報発信を行う必要があります。